

うれしの 市議会だより

令和7年
(2025)
11月●日発行
vol. 79

発行・嬉野市議会

編集・議会広報編集特別委員会

〒849-1492

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地

TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



令和7年 第3回定例会

補正予算	2
議案のなかみ	3
事業のなかみ	4～5
決算	6～10
陳情・意見書・賛否表	11
一般質問	12～21
委員会活動	22～23
トピックス	24



第3回定例会
(9月)

一般会計補正予算

1億1,489万円を計上 一般会計総額212億6,699万円

令和7年第3回定例会は8月29日に招集され、10月3日まで36日間の日程で開催されました。

今定例会では、報告4件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、補正予算2件、決算認定5件、財産の取得1件の全部で17件が上程されました。

また追加議案として、条例の一部改正2件、補正予算1件が上程され報告及び決算認定の9件を除く11件については慎重審議の結果、9月16日に討論・採決を行い、可決しました。

その後、9月18日に決算特別委員会を設置し、令和6年度の一般会計、特別会計など5件の決算認定についても、現地調査を含め慎重に審査を行いました。また、10月3日に発議第9号が提出され決算と発議を含む議案が全会一致で認定・可決し閉会しました。



補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

陳情・意見書・賛否表

一般質問

委員会活動

トピックス



議案のなかみ



嬉野市入湯税基金条例

入湯税の一部を財源として、本市における観光振興を図ることを目的とした嬉野市入湯税基金が設置されました。

積み立てられた基金は観光費又は観光関連事業費に使用されます。

基金を活用した嬉野市の観光振興策に期待します。

問 積み立てる金額は。

答 令和7年10月からの入湯税の引き上げ分から基金に積み立てる。(今年度は、2,295万円の見込み。)

問 使途を観光費又は観光関連事業費に限定した理由は。

答 嬉野市入湯税等検討委員会での意見を踏まえ、観光振興のための基金とした。

問 観光関連事業とはこういったものが該当するか。

答 観光戦略に掲げる事業を想定している。



嬉野市議会議員報酬及び市長等の給与の条例の一部を改正する条例について

議員定数は、合併当初の22名からその後改選時ごとに18名、16名と削減されてきました。一方、議員報酬は、ここ18年間31万円(県内10市のうち最下位)で据え置きでした。市長等の給与に関しても市長は、76万8千円(県内10市のうち最下位)で合併以来変更はありませんでした。

そこで今年度、7月と8月の2回、「嬉野市特別職報酬等審議会」が開催され、改正されることになりました。

今回、議員報酬が改正されたことにより、少しでも議員のなり手不足の解消に繋がればと考えます。

問 議員報酬、市長の給与はいくらになるのか。

答 議員報酬は月額32万4千円、市長給与は80万円になる。

問 いつからの施行か。

答 令和8年2月1日から。





事業のなかみ (P4～P5)

塩田庁舎等利活用基本計画策定業務

107万円

当初は、令和6年度中の策定予定でしたが、令和7年度まで事業が延長されたため、補正予算が計上されました。基本計画の策定により、より具体的な利活用案が示されます。

市民の理解を得られるような基本計画の策定を期待します。

問 計画策定期間が延長された理由は。
答 年度内での作成ありきではなく、計画の内容を検討委員会において、より議論を重ねるため継続とした。

問 スケジュールは。
答 9月8日からパブリックコメントの募集を行い、令和7年度中に、基本計画の策定を行う。



▲ 地域交流の拠点としての整備に期待！

市制20周年記念事業（市民公募）

150万円

平成18年1月1日に旧塩田町と旧嬉野町が合併してから令和8年で市制20周年を迎えます。

そこで、この節目となる機会に嬉野市民の郷土愛や一体感の醸成を図り、市民活動を応援することを目的として、市民が主体となって行う大小さまざまな事業（既存事業の場合は拡大）を選定委員会で選定し、令和7年度中に実施される事業を対象として補助金を交付します。

この事業によって、市制20周年が市民一丸となって盛り上がることを大いに期待します。

問 補助金額はいくらか。
答 最大50万円。
問 対象者は。
答 嬉野市内在住の5人以上で活動する団体等。
問 募集期間は。
答 令和7年10月3日～11月28日まで。

問い合わせは広報・広聴課まで



▲ みんなで盛り上げよう市制20周年



職業体験支援事業

50万円

商工会青年部が行う、職業体験事業（ドリームハンズ）に対して、事業費の補助を行います。小学生が体験を通して、働く事の大切さを知り、将来の自分の可能性を広げ夢や希望を描ける事を目的とします。

嬉野市の将来を担う子どもたちに貴重な体験となる事を願います。

- 問** 職業体験の内容は。
答 事業者の方と一緒に様々な仕事の体験をする。
問 対象となる小学生は。
答 市内8校全ての6年生が対象となる。
問 実施時期はいつか。
答 来年1月14日の予定。



▲ 夢の実現へ！

肥前吉田焼ランドマーク移設費

498万円

肥前吉田焼のPRのために設置しているランドマーク（器楽里）は、設置場所の契約満了に伴い移設することになりました。

当初予算では、移設・トイレ設備等の撤去・借地の原状回復等、総額費800万円で計上されていましたが、移設にあたり道路使用許可や新たな設置場所の基礎工事など、想定していた以上の工事費が必要となり、498万円の追加補正となりました。

移設先も決まり、今後も皆さんから愛されるランドマークになることを期待します。

- 問** 移設先はどこか。
答 まんぞく館駐車場の一角。
問 移設完了の予定は。
答 10月末頃。



▲ 新たな場所でも輝け器楽里

有機転換推進事業

57万円

国が推進するみどりの食料システム戦略に基づき、環境負荷低減活動や有機転換推進に取り組もうとする茶生産者に対し、みどりの食料システム戦略推進交付金及び佐賀県有機転換推進事業費補助金に基づき交付し、生産活動を支援します。有機栽培の需要も高まっていることから、様々なニーズに対応した生産体制になることを期待します。

- 問** 交付要件は。
答 10アール以上の生産面積に対して交付される。
問 交付単価は。
答 10アール当たり2万円以内となる。
問 交付対象者は。
答 申請した茶生産者3名となる。
問 圃場面積は。
答 285アールである。



▲ 有機栽培に力を入れている生産現場

決算を認定



令和7年度補正予算関連の討論・採決終了後、9月18日に議長、副議長を除く14名の決算特別委員会を設置し、令和6年度の一般会計、特別会計など5件の決算認定等について、慎重審査及び現地調査を行い、各課への指摘事項も含めた意見を付して10月3日に全会一致で認定及び可決しました。

実質収支額 6億6407万円の黒字

一般会計

令和6年度一般会計の決算状況は、歳入総額が219億2699万円、前年度比14億1923万円（6・9%増）、歳出総額が206億8365万円、前年度比9億2856万円（4・7%増）で、翌年度へ繰り越す財源5億7927万円を差し引いた6億6407万円が実質収支額となり黒字決算となっています。

前年度実質収支額と比較した単年度収支額は、7072万円の増となっています。

歳入では、市税などの自主財源比率が歳入総額の41・6%（91億4251万円）で、昨年度より2・7ポイント減少しています。

また、市税全体の収納率は、現年課税分と滞納率を合わせた全体で94・49%となっており、前年度より、0・09ポイント増加しています。

令和6年度決算の特筆すべきものとして、SAGA2024国スポ・全障スポや新庁舎建設事業令和3年8月豪雨の災害復旧事業、電力・燃料・食品等の価格高騰や人件費高騰による財政需要とともに、高齢化の進行や社会保障の拡充関係費の増加がみられました。

特別会計

特別会計の実質収支額は、国民健康保険9777万円、後期高齢者医療664万円、嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業276万円といずれも黒字決算となっています。

令和6年度

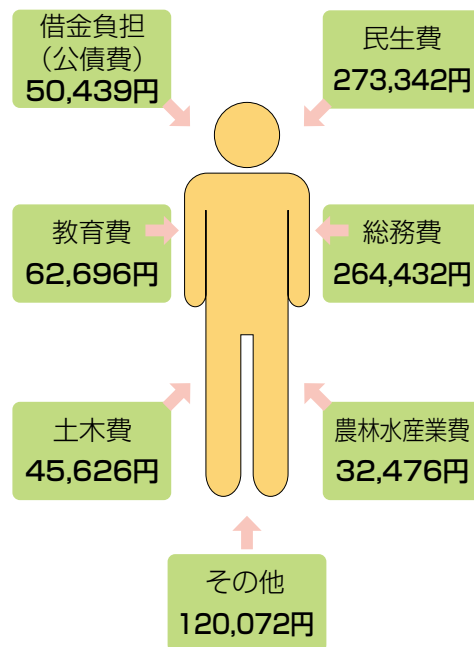
各決算の状況

会 計 名		歳入総額(A)	歳出総額(B)	形式収支 (C) = (A) - (B)	翌年度へ繰り 越すべき財源(D)	実質収支額 (E) = (C) - (D)
一般会計		219億2699万円	206億8365万円	12億4334万円	5億7927万円	6億6407万円
特別会計	国民健康保険	36億4197万円	35億4420万円	9777万円	0	9777万円
	後期高齢者医療	4億6282万円	4億5618万円	664万円	0	664万円
	駅周辺土地区画	9167万円	8891万円	276万円	0	276万円
事業会計 下水道事業	収益的収支(税込)	8億3133万円	7億8412万円	4721万円	—	4721万円
	資本的収支(税込)	4億9334万円	6億4481万円	△1億5147万円	620万円	△1億5767万円

主な財政指標

区 分	令和6年度	令和5年度	用語の説明
財政力指数	0.395	0.379	基準財政収入額を基準財政需要額で除した過去3年間の平均値。指数が1を超える場合や1に近づくほど財源に余裕があることになります。
実質収支比率	8.2%	7.5%	実質収支額を標準財政規模で除したもので普通3～5%程度が望ましいとされています。
経常収支比率	95.5%	93.1%	使い道が自由な一般財源のうち必ず支出しなければならない経費の割合。いわば地方財政のエンゲル係数で100%に近いほど財政にゆとりがないことになり、80%までが適正とされています。
実質公債費比率	8.2%	8.7%	収入に対する負債返済の割合で過去3年間の平均値。18%以上だと新たな借金をするためには県の許可が必要で25%以上だと制限されます。
将来負担比率	— (※)	— (※)	一般会計で将来負担すべき負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。350%を超えると早期健全化団体に転落し健全化計画を提出しなければなりません。

市民(24,360人)
一人あたりに使われたお金
(令和7年3月末現在の人口)



1人当たりの費用額は(人口割) 849,083円

※将来負担額より充当可能財源等が多いため比率の表示がなく、将来負担が少ないことを表しています。

でも申請!!

決算特別委員会は、9月18日に設置し、総務企画・文教福祉・産業建設の3分科会に分かれて、各所管から詳細な説明を受け、事情聴取や現地調査を行い慎重審査に努めました。

その結果、すべての決算を認定とし、各分科会から各課へ指摘を行いました。

総務・防災課

- ・消防団の出動報酬見直し、定数改正や部の統合により、処遇改善は進んでいるが、年額報酬については、標準額に達していない。消防団の充実強化を図るためにも消防団員の年額報酬の見直し等に係る協議を継続すること。

財政課

- ・嬉野市体育館跡地、公会堂跡地、社会体育館跡地等については、他

の私有財産とともに有効的な活用と適正な維持管理、売却等も視野に入れた活用策を講じよう努めること。

税務課

- ・市民税法人税割の徴収率が前年度比マイナス4.7%と大きく低下している状況であり、徴収率向上に向けた早期の取組み強化が必須である。

- ・シーボルトの湯における入湯税の取り扱いが市民以外の者から入湯税が徴収されていない状況であり、税条例の趣旨を踏まえ適切に運営する必要がある。

企画政策課

- ・ふるさと応援寄附金は寄付額が減少しないように努力されたい。特に、一層のうれしの茶商品の返礼品の充実や効果的なPRの実施に

向け、協議検討を重ねていくこと。

- ・結婚支援推進事業に関して、佐賀県の出会いサポートセンターとの連携を図りつつ、時代に応じた結婚支援策へと改善しながら事業の推進を図ること。

広報・広聴課

- ・ゼミ合宿等宿泊費助成事業補助金は、企業誘致につながる取組みとなるよう助成事業の必要性も含めて検討し、事業の精査を行うこと。

- ・企業誘致奨励金の交付を受ける事務系企業においては、地元雇用の推奨に努めること。また、企業誘致奨励金の交付期間が終了した後も嬉野市への定着につながるような交付要件の追加を検討すること。

文化・スポーツ振興課

- ・吉田夏祭りに対する補助金10万円については市内同様の夏祭りに対する補助額等を考慮し増額等も視野に入れ検討を行うこと。

会計課

- ・年度末における森林環境譲与税基金の管理で事務処理に遺漏があり基金残高に差異が生じた。適切な管理の徹底と再発防止の一環として基金一括運用の導入について調査・検討を行うこと。

市民課

- ・個人番号カード（マイナンバーカード）の更新については、更新対象者への積極的な広報と周知を行うことで更新率の向上に努められたい。

健康づくり課

- ・健康マイレージ事業においては、ポイント付与の在り方や事業予算の拡大も含め、抜本的な協議検討を行うべきである。

- ・高齢者保健事業においては、対象者の選定基準を設け、新規の通いの場の開拓を行うこと。また、今後は関係職種との連携を図りながら事業に取り組むべきである。

教育委員会

- ・英語活動支援事業（オンライン英会話）について、児童生徒が英会話でコミュニケーションが図れるよう外国人との交流の場も検討し英会話力の更なる向上に努められたい。
- ・学校ICT環境整備事業において、購入から数年経過する機器も多くあり、タブレット端

から会議

末の保証期間等の確認を行い、修繕料の予算化に努めるべきである。

子育て未来課

- ・子育てファミリーサポート事業について、新規の「まかせて会員」の掘り起こしを早急に行い、安心したサポート体制を構築すべきである。

- ・利用者支援事業、放課後児童健全育成事業において報償費の予算計上がされておらず、結果流用となった。確実な予算計上と執行を行うよう強く求める。

福祉課

- ・福祉バス運営事業において、イベント等への活用など利便性を高めた事業展開を行うべきである。

農業委員会

- ・外国人農地取得に対しては、「農地法」が適用され、申請する場合国籍を明示する必要がある。しかし、目的外利用等での懸念があるため、さらに適切に農地管理について注視していく必要がある。

新幹線・まちづくり課

- ・道の駅等管理運営事業については、イベント時以外の賑わいに欠けるため、さらなる賑わい創出に努めるべきである。

- ・未来技術地域実装事業のデジタルモール嬉野バーチャル嬉野は、事業効果が見えにくく、年間運営経費は費用に對して効果が出ていない状況である。また、自動運転車両の事業は車両価格の高騰や運営のランニングコスト、道路交通法などの課題

がある。今後は実績を踏まえ、事業の継続について検討すべきである。

農林整備課

- ・多面的機能支払交付金事業の田んぼダム推進事業は、申請組織を増やし、農地の多面的機能の拡充につながるよう、事業の更なる推進を求める。

- ・農村地域防災減災事業の調査により、緊急性のあるため池等はないが、劣化が多く見られる。地元負担を要する事業であるので、劣化状況を公表し、地元への説明を十分に行うこと。

建設課

- ・かぶり木の対策には、市民からの要望が多く出ている。さらに地権者への要請等対策を求める。

- ・市道の管理状況は、除草作業の計画が追い付いていないため、防草シートやのり面のコンクリート工事等、更なる対策を求める。

農業政策課

- ・地域計画策定業務は、

荒廃農地を防ぎ規模拡大を図るため、どこが中心となり農地の集約化を図るのか、国の動向を見ながら市としての役割を明確にしておくべきである。

- ・有害鳥獣被害防除対策事業は、最終処分場、保冷庫等の必要な施設整備を検討すべきである。

茶業振興課

- ・うれしの釜炒り茶文化継承事業においては、全国品評会で農林水産大臣賞及び産地賞受賞を生かすためにも、この釜炒り茶技術を継承

するための体制を整備すべきである。

- ・うれしの茶交流館事業においては、指定管理によるSNSを活用したPRチラシ広告などさらに広報の手段を広げて、入館者増、収益増を図りたい。

観光商工課

- ・嬉野版DMO支援事業の旅行業運営においては、更なる情報発信を行い利用者増に努め収益増を図るべきである。

- ・温泉配湯管現況調査について、漏湯量はどれくらいか、また、年度ごとの湯量の比較等ができるよう数値を示した調査結果を出していくべきである。

環境下水道課

- ・下水道事業においてはさらなる水洗化率の向上を求める。

嬉野市の台所事情

借金はいくらだけ

借入金の項目	令和6年度末金額	令和5年度末金額
公共事業債	6億930万円	6億5,848万円
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	4,196万円	1,348万円
公営住宅建設事業債	1,145万円	2,000万円
災害復旧事業債	2億5,425万円	1億7,695万円
(旧) 緊急防災・減災事業債	0円	0円
教育・福祉施設等整備事業債	2億895万円	1億4,322万円
一般単独事業債	47億6,144万円	38億3,577万円
（うち合併特例債）	(33億3,563万円)	(24億986万円)
財源対策債	3億1,264万円	3億3,230万円
減収補填債	1,839万円	1,953万円
減税補填債	258万円	700万円
臨時財政対策債	33億9,304万円	37億9,548万円
その他（一般会計出資債）	3億9,182万円	3億9,129万円
合 計	100億582万円	93億9,350万円

(決算年度末現在高)

貯金はいくらだけ

基金の項目	令和6年度末金額	令和5年度末金額
財政調整基金	41億9,622万円	41億7,491万円
減債基金	10億5,091万円	10億9,710万円
地域づくり推進事業基金	3億2,867万円	3億5,853万円
ふるさと応援寄附金基金	5億34万円	5億36万円
地域福祉基金	2億1,405万円	2億1,405万円
ふるさと・水と土保全基金	2,041万円	2,041万円
公共施設建設基金	17億3,739万円	18億9,352万円
奨学金資金積立金	7,137万円	7,195万円
人づくり振興基金	5,000万円	5,000万円
国民健康保険基金	1億5,982万円	1億8,027万円
下水道事業基金	0円	0円
土地開発基金	1億169万円	1億164万円
肉用繁殖牛導入事業基金	1,805万円	2,375万円
合併振興基金	10億766万円	12億1,893万円
教育環境支援基金	1億439万円	1億15万円
ふるさと応援寄附金子育て夢基金	1億5,999万円	1億5,994万円
森林環境譲与税基金	3,571万円	3,754万円
まち・ひと・しごと創生基金	1億5万円	1億円
その他	857万円	873万円
合 計	98億6,529万円	103億1,178万円

(決算年度末現在高)

補正予算

議案のなかみ

事業のなかみ

決算

陳情・意見書・賛否表

一般質問

委員会活動

トピックス

陳情

【塩田町内での買い物に関する】陳情書

塩田町

ごましお結びの会

代表 蒲原 知愛子氏

被爆80周年 原水爆禁止運動へのご協力をお願い

佐賀市

原水爆禁止佐賀県協議会

会長 徳光 清孝氏

議会からの意見書

学校施設の計画的改修の着実な推進に向けた国の安定的かつ継続的な財政措置を求める意見書

大草野小学校の施設長寿命化を進めるなかで、国の交付金の決定内示が遅れており、現在工事に着手できない状態にあり、工期延長により財政負担と今後の市の学校施設長寿命化にも懸念されます。そこで市議会として国に対し、安定かつ継続した財源措置を求める意見書を全会一致で提出しました。

令和7年第3回 定例会議案賛否表（主なもの）

○は賛成 ●は反対 副議長は裁決に加わりません

議案番号	議 案 名	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16
		結 果	表 採 決	水山 洋輔	大串 友則	古川 英子	阿部 愛子	山口 卓也	諸上 栄大	諸井 義人	山口虎太郎	宮崎 良平	川内 聖二	増田 朝子	芦塚 典子	田中 政司	梶原 睦也	辻 浩一
議案第45号	嬉野市入湯税基金条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第47号	嬉野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第48号	嬉野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第49号	嬉野市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定委員会条例及び嬉野市立地適正化計画策定委員会条例の一部を改正する条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第50号	令和7年度嬉野市一般会計補正予算（第4号）	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第51号	令和7年度嬉野市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第52号	令和6年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第58号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第59号	嬉野市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
議案第60号	令和7年度嬉野市一般会計補正予算（第5号）	可決	13:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	欠
発議第9号	学校施設の計画的改修の着実な推進に向けた国の安定的かつ継続的な財政措置を求める意見書について	可決	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

「市政を問う！」 一般質問

13議員が質問

諸上 栄大 議員 P12

諸井 義人 議員 P13

水山 洋輔 議員 P14

梶原 睦也 議員 P14

川内 聖二 議員 P15

芦塚 典子 議員 P16

山口虎太郎 議員 P16

山口 卓也 議員 P17

阿部 愛子 議員 P18

田中 政司 議員 P18

大串 友則 議員 P19

増田 朝子 議員 P20

宮崎 良平 議員 P20



諸上 栄大 議員

諸上 塩田町の市有地にあるスーパーマーケットが閉店したが、今後の方向性について伺う。

財政課長 当該市有地は市と塩田リバーサイドショッピングセンター協同組合との間で、事業用定期借地権設定契約を締結している。

パリの閉店は、新たな買い物弱者が発生したと考えるが買い物弱者の動向をどう考えているのか。

福祉課長 昨今の高齢化に伴い、高齢化の部分については、今後増えてくると考える。

諸上 買い物弱者支援対策は、市のどの部署が主

販売の手段等は商工になってくる。また、移動手段の支援は新幹線・まちづくり課や企画政策課のほうで対応していくと考える。色んな課を横断しながら取り組んでいくことであり、課題を洗い出す中で、お困りの方がどこに相談していいのか

ての持続可能な計画作成が必要になると考えるがいかがか。

市長 住み慣れた地域で自分らしく最期の時まで暮らせる地域づくりの中で、各課横断の取り組みがやはり必要となる。

ぜひともこうした誰一人取り残さないまちのた

めにもしっかりと体制づくりをしていきたい。





諸井 義人 議員

米の栽培状況は どうなっているか

答 主食用米55ha 増、
飼料用米44ha 減である

農業政策課長 酒米の作付面積は、JA出荷契約面積では前年度に比べ5haの増となっているが、供給不足が懸念され、仕入価格の高騰が見込まれるため一部では販売価格

諸井 酒米及びみそ等の原料米の供給状況はどうか。

諸井 JAさが支所の米の集荷契約状況はどうなっているか。
市長 食用米は面積で9haの増、そして、酒米は5haの増、一方で飼料用米は令和6年産が13haあったものが集荷契約量なしということになっている。

農業政策課長 市内6カ所の共同乾燥施設は、いずれも昭和40年代から50年代に整備されており、

諸井 JAで検討されているカントリエレベーターの進捗状況は。

農業政策課長 佐賀県では、蔵元に対する補助、価格高騰の2分の1又は差額の2分の1を補助するという制度がある。市でも同じような取組みで上乗せする方向で今後検討したいと考えている。

学校プールについて

教育長 嬉野地区の学校については、今、民間

諸井 塩田町内の学校は民間施設を利用している。嬉野町内の小・中学校について今後、民間施設利用の計画はどのように進められているか。

老朽化による更新がJAで検討されている。施設の整備内容が未定であるので、現在のところ建設場所、事業費も含めて未定という状況である。広域での整備というののも一つの案として話は出ている。



▲ 持続可能な農業政策を

市長 今ある民間事業者の持ち物を活用していくこと。そして、指導インストラクターの人件費相当分を私どもで負担をして、お互いにとって折り合えるような、持続可能



プールの方に相談している。
な水泳授業を進めていけるような取組みにしたい。

買物弱者への支援は

答 誰一人取り残さない
体制づくりに取り組む

諸上 スーパーの閉店は認識しているが、現時点で協同組合から本件に係る中途解約の申し出はあっていない。今後は当該契約に基づき対応する。
市長 商工会とも連携しながらしっかりと対応していきたい。

市長 買い物弱者と言われる方は、基本的に高齢の方や障がいをお持ちの方などであることを考えると、そのような点では福祉的な施策の位置づけとなり福祉課でニーズ調査等は行っていくと思う。一方、店舗立地や移動

明確化するよう協議を重ねたいと考えている。
諸上 地域住民を始め、流通業者や商店街関係者、交通事業者、福祉関係者、行政などが緊密に連携し、地域の食品アクセスの現状や課題を抽出し、対象者のニーズを分析することで、事業とし



▲ 買物弱者への細やかな対応を



水山 洋輔 議員

水山 塩田町の買い物環境について市の考えは。

市長 福祉的な観点からも商工会と連携して買物難民対策と位置付けて対応をしていく。

水山 民間事業者の移動販売のアンケートが回覧板で回ってきたが、今後運行されるのか。

福祉課長 塩田のスーパーの閉店に伴い、塩田地区のほうでも移動販売を拡充したいという話があった。アンケートの橋渡しを福祉課で対応した。

新幹線・まちづくり課長 備の検討ができないか。場所としては、嬉野町・鹿島市・武雄市の中間地点にもあり良いと考えるが、ハザードマップ上で浸水地域になっているため、道の駅としての申請は厳しいものがある。

水山 高齢化や人口減少となれば塩田町の空洞化が深刻な問題となる。将来的な市の観光政策としての市長の考えは。

市長 地域の買い物支援観光の魅力創出を組み合わせて成り立たせる方向性は、第一に考えている。多くの方が来られている状況を鑑みたときに、店の

舗が立地するという事は考えられなくはない。塩田庁舎の利活用でもリバティも含めたエリアを考えたときには十分にその可能性がある。

塩田庁舎等利活用について

水山 塩田庁舎の窓口機能はどうなるのか。

企画政策課長 新庁舎の開庁に合わせて利便性に配慮した窓口体制の構築を行う。

水山 2階に計画されている子どもセンターには、室内遊び場の整備をする考えはあるのか。

企画政策課長 官民連携のにぎわい創出を計画しており、施設整備の一環として捉えていただきたい。目指した施設という事で理解いただきたい。

水山 何年を目途に改修・再編を行うのか。

企画政策課長 令和9年7月頃までに改修工事を行い、8月頃には新しい塩田地区の交流拠点として全面的な供用開始ができるよう計画している。



▲ 塩田の将来ビジョンは



道の駅としての整備の検討は

答 十分にその可能性がある



梶原 睦也 議員

梶原 GIGAスクール構想の基本方針は。

教育長 児童生徒1人1台の端末確保である。

梶原 端末の更新時期と更新費用は。

教育長 令和8年度更新予定で、できれば国の費用でお願いしたいと県には要望している。

教育長 個人情報情報が極力洩れない形での取り組みには十分に配慮する。

梶原 端末の持ち帰りについては。

教育長 持ち帰っている状況ではないが、いざという時のためにオンライン授業ができる体制は作っている。

体制の予算を確保し対応している。

梶原 障がいのある児童生徒の端末活用への配慮はどうなっているか。

教育総務課長 学習の中で使いやすいソフトを取り入れている。

梶原 不登校の児童生徒を対象に端末を使った才

員の配置 ②不具合が起きた時に指導を受けるGIGAスクール学校コー
ルセンター ③各学校に
情報化推進リーダーの設
置などがある。





川内 聖二 議員

みゆき公園の水不足対策は

答 検討を進めていきたい

川内 みゆき公園は、昭和60年度に多目的広場等が整備され野球場に関しては、オープンして約33年が経過しているが、これまで公園内の施設等の安全性などの調査を行われてきたか伺う。

市長 平成24年度に嬉野市公園施設長寿寿命化計画を策定し、令和3年度に更新に伴う調査、計画の見直しを行い、判定度に基づき年次計画を立て、修繕改修等を行っている。

川内 みゆき球場は、一番古い建物で内外壁に経年劣化によるクラックが入り、雨どい等も損傷が見受けられる。全体的に

何処を改修されたか伺う。

新幹線・まちづくり課長 調査は、みゆき公園・轟公園・北部公園の3カ所の長寿寿命化計画の見直しを行い、年次計画を立てて改修を行う。調査はA B C Dの判定があり、全てA B判定で、C D判定が補助対象になる。小規模の改修は随時単独で行う。

川内 みゆき公園は開設当時より施設等が増えているが、水道水の供給は間に合っているか伺う。

新幹線・まちづくり課長 少し水量が弱いと伺っている。

川内 西側の施設全体で

競技が行われたら水不足になる。タンク等の増設の計画はあるか伺う。

市長 専門的な事業者等に相談し検討を進めたい。

西九州新幹線の終電のダイヤ改正について

川内 終電の武雄発長崎行きかもめ65号を嬉野温泉駅に停車するようにJR九州へ改めて強く要望をして頂きたいが、市としての所感を伺う。

新幹線・まちづくり課長 現在、上下線合わせて44本が運行され嬉野温泉駅に26本が停車する状況。最終に限らず、宿泊施設

のチェックインの時間帯も停車してないので粘り強く要望をしている。

市長 ダイヤ改正には、市市議会議長にも何度か要望活動に同行して頂いた。そして商工会観光協会、旅館組合の4者で要望活動を行ってきた。最終的に全部止める気持ちで要望をしていく。

その他の質問

市内の防犯カメラについて



▲ 利便性向上に向けた対策を



端末廃棄時の個人情報取り扱いは慎重に

答 十分に配慮する

梶原 ネットワークの環境整備状況は。

教育長 授業で一斉に大容量のコンテンツを利用した場合、つながりにくい状況がある。

梶原 端末廃棄時の個人情報や学習データの取り扱いもしっかりと守れるよう対応すべきでは。

梶原 家庭によってはインターネット環境がない家庭もあるのでは。

教育長 どの家庭でもできるようにブースターを貸し出している。

梶原 学習用端末のトラブルや故障時のサポート体制は出来ているか。

教育総務課長 サポート

ンライン授業で出席扱いにはできないのか。

教育長 文科省の初等中等教育部が発している規定に、要件を満たせば可能とあり、本市でも対応している。

梶原 教職員への支援体制も必要と考えるが。

教育長 ①情報教育指導



▲ 今後の活用期待



山口 虎太郎 議員

山口 温泉の水位低下の回復はどれ位か。また資料のグラフを見て水位のレッドライン、揚湯量のレッドラインはどの位の**市長** 昨年夏と比較しても高い水準であり、今後とも事業者と連携しながら揚湯量を抑えていく。

観光商工課長 どのグラ

はどのぐらいなのか。また、水位の最低のラインはどこなのかというのを質問している。

副市長 あくまでも最低ラインがどこなんだと、そしてまた、日量の揚湯量が幾らなんだということについては、本当に推測でしかない。ただ高

モニタリングのデータについては、源泉所有者のものと考えている。

山口 配湯を受けている人たちは、モニタリング資料内容というものをどこまで分かっておられるのか。

副市長 配湯会社から、しっかりと個人へも説明

もメリット、デメリットがある。その部分がまだ研究できていないので、その辺りを含めて考えていく。

その他の質問

茶業振興策について



屋根・外壁工事に補助を

答 補助制度があれば利用したい



芦塚 典子 議員

芦塚 新幹線が開通し駅から商店街を自動運転の試乗で町中を走ると、商店街の外壁やシーボルトの屋根が劣化しているのが目に付く。外壁等、修理に補助ができないか。

新幹線・まちづくり課長 外壁に特化した補助制度はない。また市単独補助は難しい。

芦塚 国交省の補助制度できれいな街並みを整備している市があるので利用したらどうか。

新幹線・まちづくり課長 実現できるものであれば利用したい。

芦塚 新幹線開通以来、嬉野市は注目を浴びてい

るので、良好な景観形成は市の責務ではないかと思うが。

観光商工課長 公衆浴場シーボルトの湯の屋根については予算要求をしていきたい。

芦塚 市の景観条例に、修理の一部を負担する「市の助成」の条項を加えることができるか。

副市長 地域住民との合意形成ができた上で考えていく。

治水対策について

芦塚 令和3年の水害で振興住宅地が浸水被害を受けたが、その後調査を

されたか。

建設部長 調査はしていないが、県への要望は毎年行っている。

芦塚 この地域の浸水を防ぐには、河川浚渫と河道掘削と遊水地が必要だが、そのための治水計画が必要と思うが。

建設部長 治水計画については調査をしている。新興住宅地については、浸水区域であることを伝えていく。

芦塚 武雄市では、高上げ補助を利用し約200件の改修工事をしている。浸水に対して高上げ等の補助等ができないか。

総務・防災課長 国・県

の支援がないので、新規の補助事業は難しい。

芦塚 武雄市は浸水被害に関して浚渫は5年計画で堤防等は、短期・中期・長期20年の治水計画を建て「床上浸水ゼロ」を目指す計画を8月に出している。

当市も治水計画を立てることができないか。

建設部長 治水対策に関しては調査を行い県の知事要望に明記している。



▲ 観光地のシンボルはきれいに！





山口 卓也 議員

店舗誘致に市が積極的に関わるべきでは

答 テナント所有者で誘致活動をされている

山口 塩田町のスーパーが8月末で閉店となったが、テナントの空きスペースに入居を促進するような交付金は考えられないか。

副市長 個人の持ち物で、テナント料が発生することから難しいと考えた。

山口 民間の施設であっても企業誘致奨励金を交付されており、新しい交付金を作り上げてもらったと考える。地域住民にとって深刻な問題で先行きに不安を感じられており、また、テナントを所有する民間事業者も公共的な視点で店舗の誘致を考えられていること

から、市が積極的に関わって対策等を考えるべきではないか。

市長 一度、店舗の本部を訪問し、閉店に至った経緯を伺い、その後の展開として違った形の店舗展開も含めて協議ができないかと伝えた。一方で、テナントの所有者のほうとしては、新店舗の誘致活動をしている。それはそれで、別々に動いていることだと思っている。所有者側で、もし出店の意向があれば、我々は協力をしますと言っている。

国道498号について

山口 昨年の6月に佐賀県が国道498号、鹿島市を起点として嬉野市、武雄市等を経由する広域幹線道路のルート帯を示されている。中心地が空洞化するようなことがないように、嬉野市にとってメリットになるような要望、協議が必要になるかと考えるが。

建設課長 塩田町の中心地にアクセスできるよう、観光、企業誘致、災害の時に、すぐ遠方に通い抜けできるような、そういったアクセス道路の整備

も要望していきたい。考えている。

駅周辺整備について

山口 令和7年で、駅前整備の第2フェーズの完了期間である。市民の意見を聴くとか、スケジュールが滞った理由など、全体を総括した上で次に繋げるべきではないか。

新幹線・まちづくり課長 設備が全部できた段階で評価をするというところも方法の一つではないかなと



▲ 身近に買い物できる場所を



温泉の水位低下の回復状況は

答 昨年夏と比較し高い水準である

山口 観光課の管理として当然分析するべきことではないか。

揚湯量のレッドライン

フを参考にされているのかわからないが、昨年度の最低レベルよりも下がらない施策を源泉所有者の方々と協力して進めていく。

さがどれくらいかということであれば、標高ではなく市が管理をしている源泉のGL（地表面）からマイナス32mということと考えている。

山口 源泉のモニタリングデータを情報公開にて共有するべきではないか。

観光商工課長 あくまで

をされている状況だと認識している。

山口 市長が主宰されている源泉所有者会議と産業建設常任委員会から出した集中管理についての考え方は。

観光戦略統括監 源泉の保護を最優先に考えている。また源泉集中管理に



▲ 温泉資源保護対策を急げ



田中 政司 議員

田中 米の増産体制にかじを切るといふ報道がなされたが、市の考えを伺う。

市長 国、県の施策なども踏まえ適切な対処をしていく。乾田直播きを進めるなど省力化、生産性の向上に努めている。国土涵養や食糧安全保障の

割強が加入する意向である。建設には、かなり巨額な事業費となるが市としてどのように関わり、支援していくのか伺う。

市長 米生産者も厳しい中でぎりぎりの経営である。その中で巨額な投資をしての安定生産となれば、負担をどれだけ抑え

は持たなければならぬ。腹落ち感のある負担を示す。

田中 水稻のジャンボタニシの被害が拡大している。今後、市の対応はどうするのか。

農業政策課長 薬剤散布費用に助成を行った自治体もある。事例を参考に

については地元をお願いし、路面補修などについては市が行っている。

田中 内野から下宿までの指定農道については、生活道路として交通量も多く通学路にもなっている。子供達の通学や通行の安全を確保する為道路拡幅など検討すべきと思



ればやっていきたい。

国保税滞納世帯の対応は

答 市役所に相談を



阿部 愛子 議員

阿部 マイナ保険証への切り替えにより、国保税滞納世帯の窓口負担はどうなるのか。

市長 特別な理由がない限り、窓口負担金は一般と同様に3割となる。

健康づくり課長 1年間支払いがなく、申し出もない場合は審議会を開き通知をする。支払いが困難な場合は内容を検討し状況に応じた支援を行う。

阿部 国保税世帯への特別な事情の申し出の措置についての周知はされているのか。

市民福祉部長 生活困窮時にかかわる相談は随時受付けている。困った時

は電話をして欲しい。

平和の取組みについて

阿部 非核宣言自治体である本市の平和行政について伺う。

総務・防災課長 核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を目的とした平和首長会議に加盟している。

阿部 塩田中央公園に非核三原則の看板のところが被り木になっているが、**総務・防災課長** 現地確認して対応したい。

阿部 市や学校の平和教育の取組みについて伺う。

教育長 修学旅行で戦争体験者の講話、資料館の

見学、また語り部の活動などを通しての学びを行っている。

阿部 市は政府に、核兵器禁止条約に参加するよう求める考えはあるか。

市長 核兵器廃絶だけは絶対に実現しなければならぬ。国に向けて核兵器の禁止条約の批准とオズバー参加を強く訴えたい。

阿部 オスプレイ低空飛行について、住民への説明会を開くことを要請する考えはあるか。

総務・防災課長 状況を見ながら判断し、今後九州防衛局に丁寧な説明を求める。

学校給食費無償化について

阿部 国は令和8年度に給食費無償化の方針を示している。国の実施を待たず、市での無償化に踏み切る考えはあるか。

教育長 市の単独財源では厳しい状況である。



▲暮らしの困りごとは窓口へ





大串 友則 議員

学校施設の体育館に 空調設備の導入を

答 国の方針も踏まえて
考慮する

大串 近年の夏季の気温上昇は著しく、市民の健康と安全を守ることは喫緊の課題である。

特に未来を担う子どもたち、児童・生徒が長時間を過ごす学校施設の体育館に空調設備の導入が必要であると考えているが、

教育長 体育館への空調設備の必要性は強く感じているが、今のところ具体的計画はない。

教育部局では、施設の耐震化などの問題を抱えており、総合的に判断して、首長部局と相談をしていく。

大串 学校の長寿命化計画の中に、空調設備の導

入計画は考えられないか。

教育部長 現在、大草野小学校の長寿命化の計画を実施している段階であるが、新聞でも報道があったように、本市においても長寿命化改良事業についての内定時点での採択が保留されており、財源の確保ができないというところで大変苦慮をしている。

この様な状況で、体育館等に空調設備をつけたという思いはあるが、学校自体に予算が確保できていない状況を鑑みると、動けない現状がある。

大串 災害時の避難所としての機能強化のために

も空調設備の導入は必要ではないのか。

総務・防災課長 多くの避難者を受け入れる必要がある事態に至った場合は、やはり体育館を避難所として開設することは大変有効であると考えている。

避難者が不快とならない環境を確保する必要があり、体育館の空調設備は重要だと認識している。

現在は、体育館機能を備える避難所の開設が必要な場合は、空調設備を備えている社会文化会館リバティ、嬉野市中央体育館（ユースポ）を避難所として優先的に開設している。

大串 市民の健康と安全を守る長として、学校施設の体育館に空調設備を導入する計画を早急に取り組むべきではないか。

市長 必要性自体は十分に認識しており、全てにおいて空調が整うことが理想であると考えている。

国も肝煎りで空調設備を入れていく全体的な方針を示していることも踏まえて、考慮する。



▲ 学びのための環境整備を！



共乾施設再編への 支援は

答 腹落ち感のある
負担を示す

観点からも水田を守っていく事は欠かすことができない施策であり、本市においても食糧増産に寄与していきたい。

田中 市内の共同乾燥調整施設が施設の老朽化に伴い、市内全体での再編統合の協議がなされている。現施設加入者の約8

ていくかが重要になってくる。国、県の補助が合わせて6割で残り4割をどうしていくのかが課題になる。立地場所や再編規模など決定してはいるが、自治体を超えて連携することになれば、自治体間の協議の中で、何かできないかという考え

支援策の研究を行っている。

指定農道の維持管理について

田中 指定農道の維持管理の現状はどうなっているのか伺う。

農林整備課長 日常管理

うが如何か。

農林整備課長 拡幅の検討は続けていきたい。除草作業については、防草シートなどの支給で地元の施工協力が得られ



▲ 老朽化が進むライスセンター



増田 朝子 議員

指定管理人件費の基準は

答 個別に算定される



宮崎 良平 議員

増田 指定管理制度の定義は。

市長 多様化する市民により、効果的、効率的に対応するため公の施設の管理に民間のノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としている。

増田 令和8年度からの指定管理事業者の募集が行われている（志田焼の里博物館、シーボルトの湯、茶業研修施設）施設の

人件費における算定根拠を伺う。

観光商工課長 志田焼の里博物館、シーボルトの湯の館長は、公民館長の報酬（給料）を適用し、

その他のスタッフは、会計年度任用職員の報酬（給料）を適用している。

茶業振興課長 茶業研修施設については、専門的な知識を有する者を雇用するため、職員給与を適用している。その他のスタッフは、会計年度任用職員報酬（給料）を適用している。

増田 指定管理施設は他にもあるが、人件費の基準はあるか。

財政課長 人件費、物件費に関する統一的な単価は定めていない。各指定管理者が提出する事業計画書や収支予算書に基づいて個別に算定される。

地域や時期によって変動し、市場価格を反映した適正な価格が求められる。一律単価を適用することは現実的でない。

増田 指定管理者と市との関係をどのように考えるか。

財政課長 対話、対等、目標共有、アイデア保護と透明性の確保、役割分担と責任の明確化を具現化する力ギとなる。

増田 第三者評価の導入はできないか。

財政課長 第三者評価のメリットは、業務の遂行状況や成果を外部に公開することで施設運営の透明性をたかめ改善点や課題が明確になり、サービスの向上につながるが、コストと時間を要する。市と指定管理者は、良好なパートナーシップにより運営ができています。導入については、必要性についても研究はしていきたい。

その他の質問

・人事行政の運営等の状況の公表について

・会議の公開について



▲ 指定管理となったキャンプ場



て

宮崎 市内小・中学校において、平和集会等を行われているのか。また平和学習についての考えを伺う。

教育長 市内の小・中学校では、毎年平和集会、人権集会において、平和について考える機会を設けている。この集会を通

代のカテゴリー別の平和教育、平和学習を行うべきだと考えるがいかがか。

教育長 小学校は心理的に見ると児童心理が影響をし、中学生になると青年心理が影響してくる。そこら辺を加味した上で嬉野流のカリキュラムをつくる段階に来ていると

要因が宗教、領土、資源、イデオロギーの乖離、歴史的对立、政治的、経済的、貧困等、様々なことが絡み合っており、起因している。本来、戦争・紛争のメカニズムというのを多角的に理解する方法を、義務教育の最終学年をめ

どに、深く触れる機会を

分事として捉えてもらえるような教育をしていく必要があると考えている。

その他の質問

・民生委員・児童委員について

・米国の関税措置の市内企業への影響について

・市長選出馬意思について

成長に合わせた平和教育・平和学習の見解は

答 嬉野流のカリキュラムをつくる段階に来ている

して、平和について考える意識が高まっている。平和学習は主に社会科あるいは総合的な学習の時間に計画的に進めている。

宮崎 義務教育期間に一年一年大きく成長の変化がある中で、感性豊かな子どもたちに適切な教材で、成長に合わせた各年

強く感じている。**宮崎** 命の尊さ、戦争の悲惨さ、また平和の尊さをしっかりと学ぶことは大事なことだと思うが、本当の意味での平和教育とは何だろうと考える。どのような時代背景で、どのような状況下で人間は戦争を起こすのか。ま



▲ 平和教育の多角化を

あなたも市議会議員へ立候補しませんか!!

令和8年1月に、4年に1度の嬉野市議会議員選挙が行われます。現在の定数は16名で、議員の任期は4年間です。現在全国的に議員のなり手不足が課題となっています。議員の仕事は、議会において予算や条例の審議・議決や一般質問などを通して、市民の意見や要望を行政に届けるなど嬉野市の課題やより良い市を目指して取り組んでいます。

嬉野市長選挙・嬉野市議会議員選挙

告示日 令和8年1月18日(日)
投票日 令和8年1月25日(日)



今回の表紙

吉田コミュニティで行われた「吉田壁画プロジェクト」です。佐賀市出身のアーティスト・ミヤザキケンスケさんと吉田小学校・中学校の子どもたちと一緒に作品を作り上げました。壁画は吉田公民館の向かいの駐車場に描かれています。



令和7年第4回定例会(12月)会期日程(案)

開会	12月2日
常任委員会	12月3日、4日
議案質疑	12月9日、10日
一般質問	12月11日、12日、15日
討論・採決、閉会	12月17日

委員会

動く!!

「行財政改革について」

総務企画常任委員会

調査理由

本市の行財政運営の参考とするため、ふるさと納税制度の見直しや地方分権改革等の国の動向等について、また「103万円の壁」「ガソリン暫定税率」等に係る経済・財政面への影響などについて総務省及び財務省にて調査した。また、フロントヤード改革の参考とするため千葉県市川市のワンストップ窓口等の取組状況を調査した。

委員会の意見

総務省では、ふるさと納税制度が地方の維持発展に必要不可欠であることを伝え、地方に配慮した制度設計を行っていただくよう要望することができた。財務省では「103万円の壁」「ガソリン暫定税率」「消費減税」等について、見解を聞くことができた。両省庁との意見交換の機会には有意義なものであった。最終的には、国民が豊かに暮らしやすい、そして、国の経済財政が向上するような方向性となることを願うばかりである。



▲ 行財政について学ぶ

市川市でのワンストップ窓口については、市民の方の利便性を追求するために、職員の新しい行政窓口へ順応する改善努力の積み重ねを感じることができた。本市においても運用開始してからも常に改善意識をもって取り組んでいく。ただ、市民が利用しやすい行政窓口の実現に向け努力されたい。市民目線の改革に繋がる視点とDX等の技術を活用した職員の働き方改革と行政サービスの充実を実現するという視点を根底に持ちながら、様々な取組みを推進されたい。

「温泉資源について」

産業建設常任委員会

調査理由

嬉野温泉では昨年、源泉の平均水位は過去最低を記録している。各旅館の努力や県からの指導により、現在徐々に水位は回復している状況にあると当市議会にも報告されている。

温泉枯渇化への対応や配湯量の安定化など、省エネルギー対策にも取り組まれている神奈川県湯河原町営温泉集中管理の状況を調査した。

委員会の意見

昨年は、限界ともいえる湯湯量の増加により、水位低下の問題が顕在化した。湯溜まりの水位が地下40mとなったことで県による湯湯量の指導が入り、使用者が源泉の利用を抑える事態となった。

嬉野温泉は、限りある温泉資源の適正な利用・資源の保護を進めると重要な課題がある。そのための手法として、神奈川県が行っている温泉特別保護地域などの指定が行えるよう、佐賀県温泉



▲ 集中管理の施設にて（湯河原町）

法施行細則の改正を求めるとともに、老朽管からの漏湯問題を踏まえ、源泉集中管理に向けて、温泉利用条例等を整備することが必要である。

温泉資源をどう守り活かすかに関しては、例えば温泉課を設置し神奈川県などの温泉保護対策について研究し、湯河原町温泉事業経営戦略に学び、源泉の集中管理に関しては、まずは、関係者との早急な協議の場を設けるべきだと考える。

「健康づくりについて」

文教福祉常任委員会

調査理由

高齢化が進む中において、医療費をできるだけ抑制する視点は重要であり、そこには予防医学的な取組みが今後さらに必要になってくると考える。今回は、市民の運動の習慣化を目標に掲げ、産官学連携のもと持続可能な健康づくりに取り組みられている滋賀県湖南市の取組みについて調査・研究を行った。

委員会の意見

市民に対し、健康づくりの環境としての運動する意識の醸成を高め、予防医学の一翼を担う事業の実践に向けて取り組むにあたり今後は、嬉野市においても産官学連携でのエビデンスの活用や民間活力を取り込んだ健康づくりという視点が重要になってくると考える。産官学連携による健康づくりの可能性について検討するためには、現在嬉野市が結ばれている連携協定の内容の見直しや地域の学術機

関との連携も含めた取組みを熟考すべきである。事業費について懸念されるが、国の補助金等について研究していただきながら、嬉野市の課題でもある医療費抑制のため、運動の習慣化等の予防医学的な健康増進に向けた事業の推進に努めるべきである。



▲ 湖南市での調査

議会からの提言

嬉野市議会では、文教福祉常任委員会から報告された提言事項を議会からの提出とすることを決定し、市に対し提言書を提出した。

「健康づくりについて」 提言書

提言理由

今後、全市民を対象とした予防医学的な取組みも含め、更なる健康づくりへの気運の醸成と取組みが重要になってくると考えるため。

提言

- 1 市民の健康づくりをさらに推進していくため、担当課はもとより他部局との組織横断的連携に重点を置き実施されること。
- 2 健診（検診）等に

- において幅広いデータを取得・解析し、新たな健康づくり事業への展開と医療機関との連携に努めること。
- 3 健康づくりのため運動を行う事業の展開や市民が健康増進に日常から関心を寄せられるよう、血圧計や体組成計などの設置を行い健康状態が気軽に見える化できる環境整備に努めること。
 - 4 民間企業との連携やデータ分析、また、エビデンスにもとづいた健康増進事業の実践に向け、大学等の教育機関とも協働した産・官・学連携の健康づくり施策の実践を行うこと。



閉会中の委員会審査（調査）付託案件

令和7年第3回定例会

付託事件名	付託委員会名	付託期間
各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会	次期定例会まで
議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会	調査終了まで
議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会	調査終了まで
市庁舎のあり方に関する調査研究	市庁舎検討特別委員会	調査終了まで
議会 ICT 化の推進に係る調査研究	議会 ICT 化の推進に係る特別委員会	調査終了まで

「薬剤師と作家の二刀流」 愛野史香さんへインタビュー



愛野史香さん
福岡の救急
病院内で働
き、コロナ
禍で疲れが
たまり仕事
を辞めて嬉野に帰ってきました。

今回のときの人は、嬉野市在住の作家・愛野史香さんです。薬剤師と作家の二刀流で活躍されている愛野さんは、2024年5月に、第16回角川春樹賞を受賞し、同年10月に受賞作『あの日の風を描く』でデビューされています。

Q 受賞作を書かれたきっかけは。

愛野さん…

福岡の救急病院内で働き、コロナ禍で疲れがたまり仕事を辞めて嬉野に帰ってきました。受賞したときのインタビューで、嬉野では何をしていたかと聞かれて、「無職だったので、失業手当を貰い、ハローワークに行きながら書きました。」(笑)と答えました。

Q プロを目指したのはいつ。

愛野さん…応募する1〜2年前から考えました。行動に移したのは、実家に帰ってきてからです。

Q 受賞したことで誰が一番喜んでいましたか。

愛野さん…亡くなった祖母が一番喜んでくれたと思います。両親は、受賞するとは思っていなかったのに驚いていました。

Q 文学的な面は、家族の影響？

愛野さん…中学生の頃から、母や兄が買った本を読んでいた。兄の影響かもしれません。

Q 受賞後の環境の変化は？

愛野さん…めっちゃくちや変わりました。出版業界、本屋さん、新聞社など交流が増えました。嬉野へ帰っていた事をあまり言っていないので、受賞がきっかけで友達にもバレちゃいました。(笑)

Q 作家としての仕事は。

愛野さん…現在は、薬剤師を週4、残りの3日間で執筆活動をしています。受賞した際も、仕事を辞めないで下さいと言われていたので、薬剤師と作家をしています。最初の5年が大事といわれているので、コツコツと書かないといけないので大変です。

Q 文豪はお酒を飲むイメージですが？

愛野さん…外食した際には少し飲みます。私が知る範囲では、飲酒する作家さんは半々です。

Q 市民の皆さんへ伝えたいことは。

愛野さん…市民の皆さんが本を読む一助になればと思います。

Q これからの予定は。

愛野さん…来年の春から夏頃には3作目を発表予定です。



【2作目】『天使と歌う』



【1作目】『あの日の風を描く』

取材を終えて

何十年も賞を取るために努力し続けているような泥臭さは微塵も感じず、あ、賞取れちゃいました！と、拍子抜けするような語り口と快活さにまずは驚いた。

初めて応募したものが大賞を取るという俗に言うシンデレラストーリーではあるものの、本を読み、取材をしなが感じたことは、彼女の独創的な事の捉え方と、類いまれなる表現力は読み手に学びと共感力を与え、なんとも言えない余韻に浸ることが出来る。まさに選ばれるべくして選ばれた素晴らしい作品である。

議会としても彼女の今後の活躍に大いに期待していきたい。

C COLUMN

やっと涼しい風が吹いてきた。猛暑から秋への気配を感じる。しかし、四季が失われていくと言われている。

▼夏と冬だけになっていくのだろうか▼四季は人の暮らしと自然の関係を映す鏡である。季節の風情が薄れていく時代だからこそ、地域の森・川・公園を大切にし地元の行事や伝統を引き継ぐことが、季節の変化を感じる力になる。▼私たちはこの力を子ども達へ繋げなければならぬ▼「天高く馬肥ゆる秋」の如く美味しい食べ物が誘惑してくる。皆様、くれぐれもご注意ください。(英子)



議会広報編集 特別委員会

委員長	宮崎良平
副委員長	水山洋輔
委員	梶原睦也
	芦塚典子
	増田朝子
	山口卓也
	古川英子